



## 誰がかじった！？

飼育員・ところ

ビーバー！リス！

いえいえ、このかじり痕はコモンマーモセットのものです。展示場内の木をよ〜く見るとかじられた痕をいくつか見つけることができます。

野生のコモンマーモセットは昆虫や果実も食べますが、それ以上に木から染み出てくる樹液や樹脂をよく食べます。木は穴が開いたり傷がついたりすると、そこを埋めるために樹液を出します。マーモセットはそれを知っているのです、木に穴（傷）を開けておいて、しばらく放置。樹液が染み出てくるのを待ち、頃合いを見て穴に戻ってきて樹液を舐めたりかじったりするそうです。見た目とは裏腹に上の犬歯と下の切歯はかなり鋭く、木をかじるのに適しています。噛まれたら痛そう…。

当園の展示場内の木にも写真のようなかじり痕が複数ありますが、残念ながらこの木からは樹液は出てきません。その代わり、朝と夕方のエサには樹液と同じような成分のアラビアガムを与え、野生よりも運動量が少ないので、サツマイモやニンジンなど果実ばかりではなく、野菜も食べてもらっています。



## 〇〇にまたたび！？

飼育員・そめや

「ネコにまたたび」ということわざが生まれるほど、ネコはまたたびを好みます。がおこくで飼育している肉食獣はネコ科動物。つまりネコの仲間です。それではライオンやジャガー、トラはまたたびに反応するのでしょうか。答えは、、、します！！ただし個体によります。ネコにおいてもまたたびに反応する個体、しない個体があり、それはその他ネコ科動物においても同じです。ライオンは比較的またたびに反応しやすく、トラはあまり反応しないとされています。以前またたびをいただ



<またたびに反応するライオン「きぼう」♂>

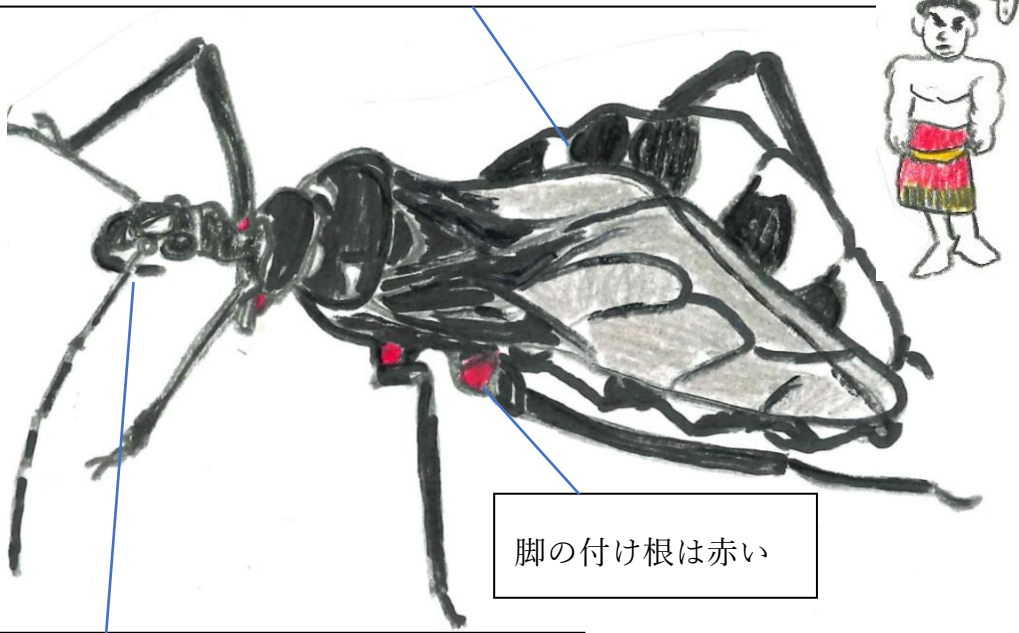
いたことがあるのですが、当園で飼育しているトラの「さわ」♀は全く反応しませんでした。一方反応しやすいライオンは半々。ライオン「きぼう」♂を含む2頭はゴロンゴロン反応し、他2頭はスツツとすました顔をしていました。ちなみにジャガーは「アステカ」♂が強めに反応し、「小麦」♀は無反応でした。ライオンたちが反応するものでは他に香水が知られており、アメリカの動物園の研究では、カル〇ン・ク〇インの香水が最も反応したそうです。機会があったら試してみたいなあ。

# 園内にいるゾクつとする昆虫 飼育員：かわそえ

カメムシ目 サシガメ科 ヨコヅナサシガメ

園内ではサクラやケヤキの木でよく見られます

腹部の縁が張り出しています。これが相撲で用いられる「化粧まわし」に似ていることからその名がつけられました。似てる？



脚の付け根は赤い

針状の口で獲物の昆虫を刺して、体内を溶かす液を注入して吸います。

※刺されると痛いですが！見つけても  
そっと観察するだけにしましょう



脱皮直後は真っ赤でだんだん黒くなっていきます



ヨコヅナサシガメの幼虫は集団で集まって冬を越します。樹皮の裏などを覗くとぞくぞくする光景を見ることがあります。



## かみねっちょからのお知らせ

かみねっちょ新聞は今年度から  
ちょこっとリニューアル。  
2カ月に1回の発行になります。  
文字多め？イラスト多め？  
記事を担当する者によって変わります！

## イベント予定

6月  
2(日) 開園記念入園無料 園長ガイド  
8(土) 昆虫図鑑作り  
15(土) 畑イベント

7月  
6(土)・7(日) セタイイベント  
14(日) 世界チンパンジーの日特別ガイド  
22(月)・23(火) サマースクール

詳細は後日、かみね動物園のHPにてご案内します。